

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		杉並芸術会館の維持管理		20年度予算コード	3	整理番号	80	枝番号			
担当部課名	区民生活部管理課	コード	050101	昨年度 整理番号	86						
係名	施設計画担当	連絡先 電話番号	3755								
上位施策名		No	66	文化・芸術活動の基盤整備							
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	15 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	(4)	施策番号	事業コード	2	
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 一部新規	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業	根拠法令等					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	(1) 杉並区立杉並芸術会館条例 (2) 杉並区立杉並芸術会館条例施行規則 (3) 杉並区立杉並芸術会館の管理に関する基本協定書・年度協定書					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	協定に基づく指定管理業務(開館までの準備業務)の実施			事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 演劇・舞踊等の舞台芸術の創造及び発信並びに区民の文化活動の拠点として、芸術文化の振興を図る。						
	活動指標名(式)	(1) ホール(B・C)の貸出し回数=3時間帯×開館日×2室 (2) 芸術文化普及振興事業の実施延日数			成果指標名(式) (代)=適当な指標がない場合の代替指標 (1) ホール利用率=ホール年間延利用回数÷年間延貸出可能回数×100 芸術文化普及振興事業への参加人数 =公演事業の年間延観客動員数+教育的事業への年間延参加人数						
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%	/		
	活動指標(1)	回					2,058	0.0			
	活動指標(2)	日					400	0.0			
	成果指標(1)	%					80	0.0			
	成果指標(2)	人					43,000	0.0			
総事業費・コスト把握	事業費	千円	6,568	34,445	32,342	150,506	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等	千円									
	(内) 委託費	千円	6,191	30,282	28,830	144,783					杉並芸術会館は平成20年度に開館するため、活動指標及び成果指標の数値は開館後となる。 17年度...主な経費として、指定管理候補者選定経費を支出。 18年度...主な経費として、指定管理経費を計上。 19年度...主な経費として、指定管理経費及び芸術監督経費を計上。 20年度...主な経費として、指定管理経費及び芸術監督経費を計上。
	職員数(常勤 非常勤)	人	1.00	0.90	1.00	1.00					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	9,060	8,226	9,140	9,140				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0				
	総事業費 ++	千円	15,628	42,671	41,482	159,646					
	単位あたりコスト(-)÷	円									
	財源	受益者負担分	千円								
		国・都等からの支出金	千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0					
差引:一般財源 -		千円	15,628	42,671	41,482	159,646					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0						
19年度の主な取組み	内 容			規模	単位	事業費(千円)					
	指定管理者との協定に基づく指定管理業務(準備業務)			1	件	28,830					
	芸術監督報酬費等			1	式	3,287					
	運営評価委員会開催			1	回	148					
	その他 ()					77					

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 80 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%		活動指標(2)の 19年度達成率%	19年度予算 執行率%	93.9
		主に、指定管理者の指定管理業務決算差金に伴う残。				
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		指定管理業務として、芸術文化普及振興事業、施設・設備等整備及び運営体制等の検討など、21年5月の開館に向けた着実な取り組みを行った。また、芸術文化振興事業を効果的に実施するため、芸術監督を任命し、事業の基本方針を策定した。事業の内容や、施設の運営・管理について評価する機関として、杉並芸術会館運営評価委員会を設置した。 なお、この芸術会館を多くの方々に愛される施設とするため、愛称を公募し、「座・高円寺」と決定した。				
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	高円寺会館改築後の施設(杉並芸術会館)に、劇場機能など芸術文化振興の拠点施設としての機能を盛り込むことにした。 施設の運営に関しPFI方式も検討されたが、指定管理者制度を導入することになった。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	小劇場や、高円寺会館の機能を引継ぐ区民ホール、阿波踊り利用を優先した阿波踊りホール等を有し、個性的な新しい芸術文化施設として、地域住民や文化関係者から多くの関心と期待が持たれている。				
	今後の予測	舞台芸術や阿波踊りを始め、芸術文化振興の重要な拠点施設として、地域住民に親しまれ、地域の活性化に寄与していくことが予測される。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:優れた舞台芸術を中心とした芸術文化の普及振興を図るとともに、区民のさまざまな文化・芸術活動の拠点として、区の芸術文化活動のための基盤の整備に大いに貢献する。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容:施設の建設中であり、21年5月の開館後、本格的に管理運営業務がスタートした後に検討を行う。 理由または具体的内容:				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:他の区立施設等に準じた施設利用料金を定めた。なお、付帯備品料金は検討中である。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:施設の建設中であり、21年5月の開館後、本格的に管理運営業務がスタートした後に検討を行う。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題 舞台芸術に知識と経験を有する指定管理者により、効果的な芸術文化普及振興事業や施設運営の準備業務が着実に進められている。 また、19年度は住民懇談会を実施し、今後の施設の運営等について広く理解を求めたが、20年度は、地域協議会を立ち上げ、周辺の団体・住民を巻き込んだ取り組みを行っていく。				
	(3) 協働等の形態 指定管理者(具体的内容)					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 施設の建設中であり、21年5月の開館後、本格的に管理運営業務がスタートした後に検討を行う。	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性	<input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	21年5月に杉並芸術会館が開館し、芸術文化普及振興事業及び維持管理・運営業務が本格始動することに伴い、指定管理料が大幅増となるため。

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		杉並芸術会館の建設		20年度予算コード	2	整理番号	81	枝番号			
担当部課名	区民生活部管理課	コード	050101	昨年度 整理番号	85						
係名	施設計画担当	連絡先 電話番号	3755								
上位施策名		No	66	文化・芸術活動の基盤整備							
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	15 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	(4)	施策番号	事業コード	2	
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 一部新規	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業	根拠法令等					
	対象	<input type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input type="checkbox"/> 団体	<input checked="" type="checkbox"/> その他	(1) 杉並区立杉並芸術会館条例					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	旧高円寺会館の解体工事(18年度) 杉並芸術会館の建築工事(18~20年度)		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 優れた舞台芸術の創造と発信など芸術文化の普及振興を図るため、また区民の文化・芸術活動の場として、条例の目的を達成するための機能を確保した施設を建設する。							
	活動指標名(式)	(1) (2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 工事の進捗率 (2)							
指標	活動指標(1)										
	活動指標(2)										
	成果指標(1)	%	4	40	38	100					
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費	千円	599,730	824,733	393,027	1,804,622	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等	千円	599,730	824,733	393,027	1,804,622					
	(内) 委託費	千円	599,730	824,733	393,027	1,433,046					
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.23	0.20	0.50	0.50	16年度...改築設計者選定委員会経費計上。 17年度...主な経費として、改築基本設計及び 実施設計費計上。 18年度...旧高円寺会館解体工事経費、杉並芸術 会館建設経費(工事費前払金及び工事監理 費)計上。 19年度...建設経費(工事費19年度出来高分及 び工事監理費)、繰越明許費153,851千円を計 上。実績は繰越額含む。 20年度...建設経費(工事費20年度完成高分及 び工事監理費)計上。繰越明許費(19年度 分)427,070千円(計画額には含まず。)				
	人件費	千円	2,084	1,828	4,570	4,570					
	非常勤職員分	千円	0	0	0	0					
	総事業費 ++	千円	601,814	826,561	397,597	1,809,192					
	単位あたりコスト(-)÷	円									
	財源	受益者負担分	千円			47					
		国・都等からの支出金	千円								
特定財源計 +		千円	0	0	47	0					
差引:一般財源 -		千円	601,814	826,561	397,550	1,809,192					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0						
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)						
	杉並芸術会館の建築工事		1	件	373,900						
	杉並芸術会館の建築工事監理委託		1	件	19,000						
	旅費				127						
	その他 ()				0						

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 81 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%		活動指標(2)の 19年度達成率%	19年度予算 執行率%	47.7
		主に、建築工事費の残。				
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		営繕課と連携し、円滑な建築工事への取組みを行うとともに、施設の設置目的に沿った機能確保の観点から、効果的な建設・整備方法等について指定管理者との検討・協議を進めた。 ・20年度工事費予算...1,433,046千円				
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	高円寺会館改築後の施設に劇場機能など芸術文化振興の拠点施設としての機能を盛り込むことにした。施設の建設に関しPFI方式も検討されたが、区が整備することとなった(運営面では指定管理者制度を導入)。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	小劇場や高円寺会館の機能を引継ぐホール等を有する新しい芸術文化施設に対しては、地域住民や文化関係者から多くの関心と期待が持たれている。 工事期間中の十分な騒音・振動対策について、近隣住民から要望が出されている。				
	今後の予測	舞台芸術や阿波踊りを始め、芸術文化振興の重要な拠点施設として、地域住民に親しまれ、地域の活性化に寄与していくことが予測される。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 芸術文化活動の拠点整備に貢献するとともに、地域の活性化の推進が図られる。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 各種工事会議や指定管理者との検討・協議などを通して、施設の機能を最大限に高められるような施工内容に繋げていく。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 施設整備事業において、受益者負担は考えにくい。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 本施設に求められる機能の確保や安全管理に必要な建設経費を精査して算出したため。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 劇場機能を持つ施設の建築工事と舞台設備工事に実績のある施工業者及び設計業者に、工事の請負及び工事監理を委託することにより、施設の設置目的を達成するための機能の確保に十分な成果をあげている。				
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 建築工事は平成20年度に完了するため、該当なし。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input checked="" type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 建築工事は平成20年度に完了するため、該当なし。	

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		郷土博物館の運営管理				20年度予算コード	006	整理番号	605	枝番号	
担当部課名	教育委員会事務局郷土博物館			コード	603700	昨年度 整理番号	833				
係名				連絡先 電話番号	3317-0841						
上位施策名		No	66		文化・芸術活動の基盤整備						
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		元	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				根拠法令等				
	一般区民						(1) 博物館法 (2) 杉並区立郷土博物館条例 (3) 杉並区立郷土博物館条例施行規則				
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		資料の収集保管 常設展示・企画展示の実施 子ども博物館教室等の実施 学校教育等への支援、周知、普及に関する活動(学校利用の受入、展示解説や質問、相談への応対等)を図る。資料の寄贈・寄託 研究紀要・年報等の発行				事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）		・歴史的・文化的遺産の収集、保存、研究活動により、郷土の文化を守り育てる。 ・展示等各種事業を通して、区民が郷土の歴史文化への興味を持つ機会をつくる		
活動指標名(式)		(1) 企画展・講座・教室等事業実施回数 (2) 収蔵資料総数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 事業参加者数 (2) アンケート結果(満足を1、普通を2、不満を3とした平均点)			
区分		単位	18年度		19年度		20年度	目標値	目標値に対する19年度の達成率%		
			実績		計画		計画	22年度			
指標	活動指標(1)		回	29	40	40	40	40	100.0		
	活動指標(2)		点	124,844	125,644	126,347	127,000	128,000	98.7		
	成果指標(1)		人	13,396	-	55,047	56,000	60,000	91.7		
	成果指標(2)		点	-	-	1.36	1.2	1.2	113.3		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	10,213	19,720	13,651	22,606	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など) 今回の事業評価から活動指標及び成果指標の取り方を変更したため19年度計画数値を記入できない部分がある。 19年度事業参加者数には分館の開設イベントがあったため、20年度計画数値はその分を減数している。 18年度～19年度の職員数は、増員ではなく事業分担の変更によるものである。			
	(内) 投資的経費等		千円	0	0	0	0				
	(内) 委託費		千円	3,108	4,918	3,633	5,277				
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.64 1.42	2.20 11.00	2.23 11.00	2.20 11.00				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	14,858	20,108	20,382	20,108				
		非常勤職員分	千円	4,019	30,470	30,470	30,470				
	総事業費 + +		千円	29,090	70,298	64,503	73,184				
	単位あたりコスト(-)÷		円	1,003,103	1,757,450	1,612,575	1,829,600				
	財源	受益者負担分	千円	1,240	1,249	1,747	1,250				
		国・都等からの支出金	千円	0	0	0	0				
特定財源計 +		千円	1,240	1,249	1,747	1,250					
差引: 一般財源 -		千円	27,850	69,049	62,756	71,934					
受益者負担比率 ÷		%	4.3	1.8	2.7	1.7					
19年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)		
		本館・分館の企画展等の開催に掛かる経費					1	式			
		研究紀要・年報等出版物印刷経費					1	式			
		郷土資料等購入等					1	式			
		郷土史講座の実施に掛かる経費					1	式			
		その他 ()							13,651		

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 605 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 19年度達成率%	100.6	19年度予算 執行率%	69.2
		分館開館というイレギュラーな状況下においても、効率的に事業を進めることができた。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		19年4月に天沼弁天池公園内に分館が開設。分館にも学芸員(非常勤)を2名配置し、企画展等を実施する予算分増額した。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	入館者数:平成元年(開館時)17,326人、平成2年24,622人、平成10年18,884人、平成15年14,027人、平成19年本館14,923人分館17,028人。平成19年4月、天沼弁天池公園内に分館が開館。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	展示・講座等概ね好評で、特段目立ったクレームはない。					
	今後の予測	杉並区教育ビジョン推進計画に計画化されているように、「共に育つ豊かな地域づくり」の実現に向けた施策が展開される中、当館も関連施設や各種団体等との連携を深め魅力ある博物館としての活動を推進する。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:当区における文化活動の基盤整備の一翼を担っている。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 観覧者のCSを高めることで口コミでの新規の顧客を掘り起こす。また、PR戦略を拡充することで、事業のPRの到達力を高める。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 各種事業を実施する上での「参加費」等は徴収していない。あくまで入館料(100円)のみであるので妥当と考える。小中学生は無料である。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 展示等の質を落とさずに事業実施する最低限の予算と考える。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) ・展示等の制作物の委託 ・ポスター、チラシ、図書の印刷の委託 ・ホームページの作成委託等					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 21年度実施する民間活力の導入により、現在の課題が全て解決することとはなり得ない。その後も検証・評価と併せて更に課題解決に向けた民間のノウハウや運営体制の整備・改革を推進していく。 開館20年目を向かえ、平成2年の24000人をピークに通減し約半数近くまで落ち込んでいる。常設展を全面的リニューアルすることは困難であるため、企画展その他の事業を積極的に展開することで新たな顧客を発掘し、観覧者数を回復させる。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 外部化の大きな阻害要因は、運営管理の受け手側にとって当館が企業活動として魅力的な施設かどうかということである。施設規模、立地条件、入館料、収益事業等いずれも強みに欠けているのが現況である。 一方民間活力には様々な手法等が存在する。行政側と事業者双方にメリットが生じる手法を選択する。	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	当面、同様の予算規模で事業の充実等を図っていく。第4次スマートすぎなみ計画により計画化されたように、運営体制について民間活力の導入を図ることを目指して、具体的な取組を開始する。

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		郷土博物館の維持管理			20年度予算コード	001	整理番号	606	枝番号	
担当部課名	郷土博物館	コード	603700		昨年度 整理番号	834				
係名		連絡先 電話番号	3317-0841							
上位施策名		No	66		文化・芸術活動の基盤整備					
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	元	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード	
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理			<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他			根拠法令等					
	一般区民					(1) 博物館法 (2) 杉並区立郷土博物館条例 (3) 杉並区立郷土博物館条例施行規則				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	本館、分館、西田小学校展示室、松ノ木遺跡、館外収蔵庫6か所の維持管理				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 利用者へ安全快適な施設環境を提供する。 文化遺産を適切な状態で保存・活用し、郷土の文化を守り育てる。 区民の郷土意識を高め、歴史文化認識を深める。				
活動指標名(式)	(1) 開館日数 (2)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 入館者数 (2) アンケート結果(満足を1、普通を2、不満を3とした平均点)					
区分		単位	18年度		19年度		20年度	目標値	目標値対	
			実績		計画		計画	22年度	する19年度	
									の達成率%	
指標	活動指標(1)		日	295	295	295	295	295	100.0	
	活動指標(2)									
	成果指標(1)		人	14,756	25,000	31,951	35,000	40,000	79.9	
	成果指標(2)		点	1	1.2	1.26	1.2	1.2	105.0	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	50,648	37,354	29,911	41,360	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円	0	0	0	0			
	(内) 委託費		千円	16,351	21,743	21,741	21,624			
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.32 0.00	1.32 0.00	4.30 0.00	4.30 0.00	・平成19年度は、分館開設に伴う維持管理費を計上している。 ・平成19年度は、本館の入館者増加と分館開設に伴う分館の入館者数を計上している。 ・19年度計画と19年度実績における職員数は、増員ではなく事業分担の変更によるものである。		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	11,959	12,065	39,302	39,302			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	62,607	49,419	69,213	80,662			
	単位あたりコスト(-)÷		円	212,227	167,522	234,620	273,431			
	財源	受益者負担分		千円	33	41	40			42
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0			0
特定財源計 +		千円	33	41	40	42				
差引: 一般財源 -		千円	62,574	49,378	69,173	80,620				
受益者負担比率 ÷		%	0.1	0.1	0.1	0.1				
19年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)	
		施設維持管理(光熱水費、維持管理経費、施設整備等)					1	式		
		博物館分館施設維持管理(備品購入費、図書資料購入費等)					1	式		
		その他 ()							29,911	

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 606 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 19年度達成率%	19年度予算 執行率%	80.1
		・節電など経費の削減を図っているが、施設全体に老朽化が進んでいる。 ・予算の範囲内で適切な維持管理が行なわれた。				
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		収蔵庫の計画的な移転・統合等に向けた取り組みは、実質的な成果を上げられなかった。				
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	入館者数:平成元年(開館時)17,326人、平成2年24,622人、平成10年18,884人、平成15年14,027人、平成19年本館14,923人分館17,028人。平成19年4月、天沼弁天池公園内に分館が開館。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	サービス施設としての窓口対応等良好で、特段目立ったクレームは寄せられていない。				
	今後の予測	開館20年目を向かえ、施設の老朽化が目立っている。抜本的な改修等困難なため、対処療法的にならざるを得ない。お客様への配慮を徹底し、できる限りご迷惑等掛けない方法で対応していく。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:当区における文化活動の基盤整備の一翼を担っている。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容:				
	成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 区民サービスを提供する施設として、お客様に対する配慮や気付きを十分発揮することでCSを高める取り組みを行う。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 条例及び規則に定められた受益者負担であるため。				
(4) コストを下げる余地はあるか ある [民営化・外部委託化] (具体的内容)	理由または具体的内容: 施設の維持管理部門に掛かる職員人件費を外部委託化等により圧縮することは可能である。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) ・維持管理業務の多くを委託している。 ・植栽維持管理、消防設備保守点検、機械警備、電気工作物保守点検、展示室模型清掃、昇降機設備保守点検、自動ドア保守点検、印刷機保守点検、電話設備保守点検、収蔵庫燻蒸、清掃業務、古民家維持作業、機械設備保守点検等。				
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 収蔵庫が区内小・中学校6ヶ所に分散して保管いるため、調査・研究が計画的に行われたい状況にある。本館を拡充することはできないので、今後学校改築等が計画化される時期を捉えてスペースの確保等に取り組む。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 学校の余裕教室を借用しているので、今後の教室需要の変化に留意し、早めの対策を行うことで、収蔵庫のスペース確保までの対応をスムーズに行う。	
	(1) 21年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 維持管理を行う中で老朽化に伴う修繕費に掛かる経費は増加する可能性がある。お客様CSに係わる部分については、優先的に改善を行っていく。